

英語教育学者・通訳学者として第一線で活躍する 鳥飼玖美子氏が特任教授に就任

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：伊沢俊泰)では、5月1日(金)より鳥飼玖美子氏が特任教授として就任することが決定しました。今後、本学において学術講演会での登壇や、本学の国際教育を担うインターナショナル・ラウンジ(i-Lounge)のアドバイザーを務めることなどを予定しています。長年にわたり英語教育の第一線で活躍している鳥飼氏の知見を活かし、本学の英語教育や国際交流活動をより充実させます。

【プロフィール】

特任教授 鳥飼玖美子 (とりかい くみこ)

専門は、異文化コミュニケーション学、英語教育学、通訳翻訳学。

1969年、上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。コロンビア大学大学院修士課程修了(MA in TESOL)、サウサンプトン大学大学院人文学研究科博士課程修了(Ph.D.)。

上智大学在学中に英語の同時通訳者として活動を始める。卒業後もテレビでの通訳を続けるとともに、ラジオやテレビの英語講師も務める。現在は、NHKの英語講座『#バズ英語』での監修と解説者として出演するなど、メディアや著作等の発信を通じ、日本の英語教育に大きく貢献している。

◇主な活動

国語審議会、日本ユネスコ国内委員会、中央教育審議会大学分科会留学生部会、大学設置審議会、観光政策審議会、交通政策審議会等の委員および内閣府政府広報アドバイザー、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー会長、日本通訳翻訳学会会長、AFS日本協会理事、FIT(国際翻訳家連盟)理事、IATIS(国際翻訳・異文化研究学会)理事、AFS International Educational Council member、中央教育研究所理事、港区国際交流協会理事長、日本学術会議連携会員等を歴任。

現在、日本国際文化学会顧問、日本通訳翻訳学会名誉会員、日本開発構想研究所理事、国際協力推進協会理事、国際文化会館会員、日本文藝家協会会員、アジア太平洋多文化協働センター設立構想委員会協働代表等。全英連(全国英語連合会)主催「全国高校生スピーチコンテスト」審査委員長。

◇主著

- ・やっぱり英語をやりたい! (幻冬舎新書、2023)
- ・異文化コミュニケーション学(岩波新書、2021)
- ・なんで英語、勉強すんの? (岩波ジュニア・スタート・ボックス、2021)
- ・通訳者たちの見た戦後史 一月面着陸から大学入試まで一 (新潮文庫、2021)
- ・10代と語る英語教育 一民間試験導入延期までの道のり一 (ちくまプリマー新書、2020) 他